

保育士資格取得特例講座FAQ（よくある質問と回答）

Q 1. 一定以上の実務経験で、「3年以上かつ4,320時間（実労働時間）以上」とありますが、受講時に実労働時間が不足していますが、受講できるでしょうか？

A 1. 実労働時間については、保育士試験の科目免除申請時までには足りていればよいため、その不足により本学の講座が受講できないということはありません（本学においては、受講にあたって実労働時間の過不足について確認をすることはありません。各自でご確認くださいませよう、お願いいたします）。

Q 2. 教科書について教えてください。

A 2. 本学指定の教科書を使用し、大学で一括販売します。価格は1科目1,800～2,000円程度です。1講座1冊、4講座受講する場合は合計4冊購入していただきます。

Q 3. 保育士試験に一部合格した科目があるが、どの科目に振替られますか？

A 3. 受講しなければならない科目については、まず、以下の保育士試験免除科目に関する厚生労働省のページをご確認ください。その上でご不明な点がございましたら本学までお問い合わせください。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/hoiku/tokurei.html

Q 4. 免除科目の申請方法はどのようにしたらよいでしょうか？

A 4. 本学では申請に必要な保育士試験免除科目専修証明書を発行いたします。具体的な申請方法については、保育士試験を実施している全国保育士養成協議会にお問い合わせください。保育士試験の受験手引きは以下のページに記載されていますので、参考にしてください。

<http://www.hoyokyo.or.jp/exam/guidance/index.html>

Q 5. スクーリングの出席基準等について教えてください。

A 5. 基本的には本学の履修規程に準じますので、科目ごとの3分の2以上の出席が必要です。

本講座の場合は、科目ごとにスクーリングと添削課題それぞれについて3分の2以上の受講が必要となり、その基準を満たした場合、評価を受けることができます。

科目ごとには、「相談支援」が5回以上、その他3科目につきましても6回以上の出席が必要となります。

評価は、基本的にスクーリングの最終回に出題される試験と添削課題の内容によります。

ただし、勤務園の行事等、どうしてもやむを得ない理由により基準以上の欠席をしなければならない場合、スクーリングの最終回に出席できない場合などは、あらかじめご相談ください。状況に応じて、補講や代替措置の実施を検討いたします（補講や代替措置の実施を確約するものではありません）。

Q 6. スクーリング最終日の試験の内容について教えてください。

A 6. 科目により異なりますが、基本的にはスクーリングで受講した内容に基づき何らかの記述が求められるとお考えください。各科目の最終回に試験問題を出しますので、解答を作成して所定の期日までに郵送により提出してください。

Q 7. 添削課題は手書きでしょうか、パソコンで作成するのでしょうか？

A 7. 添削課題についてはどちらでも対応可能です。試験の解答は手書きで作成してください。

Q 8. 教員免許の更新講習を受けている場合、初回講義の際に提出する「幼稚園教諭免許状のコピー」は、更新講習後の免許状の写しの方が良いのでしょうか？それとも、最初にもらった免許状の写しの方が良いのでしょうか？

A 8. 更新講習を受けた後のものをご提出ください。

Q 9. 来年度以降(平成 30 年度以降)の開講予定を教えてください。

A 9. 現在未定なので、可能であれば今年度に必要科目を履修することをお勧めいたします。

以 上

今後とも多数のご質問があれば、回答とともに随時更新する予定です。

札幌大谷大学短期大学部